

子供たちの学びを守るために

～「基礎・基本」定着状況調査のこれまでの調査問題を活用する～

令和2年4月21日

臨時休業中の子供たちの家庭学習で、「基礎・基本」定着状況調査の調査問題を活用してみませんか？ポイントは「課題克服」(苦手なことにチャレンジ!)です。



1 どんな問題があるの？

平成14年度に始まった県独自の調査であり、児童生徒の基礎的・基本的な学力の状況を把握し、各学校での指導方法等を改善するため、平成29年度までは次のような教科調査を実施していました。

【小学校】5年生を対象

- 国語, 算数, 理科 (H25 から)
- 1教科45分で実施を想定

【中学校】2年生を対象

- 国語, 数学, 英語, 理科 (H25 から)
- 1教科50分で実施を想定

【共通】

- 前の学年までの内容から出題
- タイプI (基礎), タイプII (活用) に分けて出題 (H25 から)

【特徴】

- 教材としてだけでなく、いわゆる「まとめテスト」として活用できます。
- 実施年度の教科や問題ごとの県の通過率(いわゆる正答率)等が公表されています。

2 どのような活用例が考えられるのかな？<小学校5年生・中学校2年生での例>

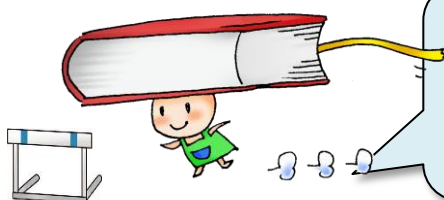
A 学校が児童生徒の学習状況の把握に活用

- ① **児童生徒** (学校が実施期間を示し,) 家で時間を測って実施します。
- ② **学 校** (回収後,) **教員で協力して採点し、個々の学習状況を把握**します。
 - 過去の県の通過率を参考に、その子の学習のつまずき、苦手な内容を分析します。
 - 児童生徒に**アドバイスカード(採点結果+アドバイス+学習課題)**を送ります。【別紙1に例示】
- ③ **児童生徒** 先生からのアドバイスカードを参考に、苦手な学習内容にチャレンジします。

B 児童生徒が「課題克服」の学習教材として活用

- ① **児童生徒** 自分で計画を立てて、家で時間を測って実施します。
- ② **児童生徒** **自己採点して、苦手な分野(領域, 単元, 記述式 等)を見つけます。**
- ③ **児童生徒** 学習計画に「課題克服」の時間を設定し、**教科書や参考書等で苦手なところに戻って、学び直します。**(例: 関連した問題を解く, 教科書等を活用して解説を作る 等)
- ④ **児童生徒** 教科書や参考書等の章末問題等を使って、「課題克服」したのか自分で確認します。

※ 他の学年でも、これまでに習った内容の設定問を取り出したり、組み合わせたりして、部分的に小テストのような形で活用することが可能です。



テストで自分のつまずき(苦手)を明らかにし、その克服のため、さかのぼって勉強し、その成果をまた自分でみとっていく。子供たち自身が、こうした学習の仕方(サイクル)を学ぶことが大切です。そのお役に立つよう、過去の「基礎・基本」定着状況調査の問題・解答用紙(中学校のみ)・正答例をまとめたHPを作成しました!

【参考】問題・解答用紙(中学校のみ)・正答例「臨時休業中の『基礎・基本』定着状況調査の活用について」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/rinzikiso.html>

〇〇中学校 アドバイスカード

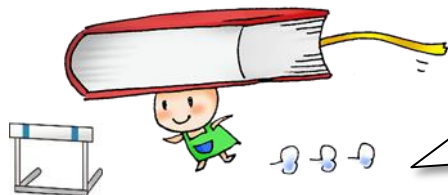
年 組 () さんへ

平成(29)年度「基礎・基本」定着状況調査

※タイプⅠは基礎的・基本的な内容、タイプⅡは活用に関する内容

教科		国語	数学	理科	英語
結果	タイプⅠ	/17問	/17問	7 /12問	/22問
	タイプⅡ	/4問	/5問	4 /8問	/4問
先生からのアドバイス (改善ポイント)				<p>生物分野は、とてもよくできていました。結果を予想したり、実験の条件を考えて計画したりする力は大切です。</p> <p>地学は、5(3)の岩石の分類の図については、他の分野でも大切なので、「分類の考え方」に注目してみよう。</p>	
苦手克服に向けて がんばりポイント				<p>◎「分類の考え方」については、1年生の教科書〇ページに出てくる岩石の特徴を、問題の図を使ってまとめてみよう。</p> <p>○理科プリント1-1 ◎理科プリント1-2 ○理科プリント2-1</p>	

記入例



- 1 「先生からのアドバイス」を参考に、自分の苦手克服にチャレンジ!
- 2 「苦手克服に向けて」のうち、◎が付いた学習課題については、〇月〇日(〇)までに取り組んで、〇〇の機会に提出しましょう。